

適正飲酒に対する取組み



ビール酒造組合



ビール酒造組合展開事業

1. STOP！未成年者飲酒プロジェクト
2. 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞
募集キャンペーン
3. 未成年者飲酒防止啓発活動
 - (1) 養護教諭実践指導研修
 - (2) 未成年者飲酒防止啓発DVD・教員用指導手引書制作
4. 女性の不適切な飲酒防止啓発活動
 - (1) アットリンクビジョン(産婦人科デジタルサイネージ)
 - (2) マイナビウーマンWebプロモーション
5. 啓発冊子「適正飲酒のススメ」の制作・配布
6. イッキ飲み、アルハラ防止キャンペーン協賛

1. STOP！未成年者飲酒プロジェクト

ポスタークリエイティブ



駅構内ボード広告



街頭大型ビジョン



アルコール関連問題についての社会的要請に応えるため、ビール業界として未成年者飲酒防止を最重要課題とし、2005年に「STOP！未成年者飲酒プロジェクト」をスタートさせました。毎年4月と12月に全国9エリアで、交通広告、インターネット広告やトレインチャンネル等の媒体も活用し展開しています。また、2014年12月には、新たに全国の主な大学の食堂にもポスターを掲示を開始しました。またコンビニエンスストア・スーパーマーケット・カラオケ業界など小売店・業務店にも協力をいただき、店頭ツールの配布、展開をしています。

店頭ツール



2. 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン



2002年にスタートしたキャンペーンであり、本年で第14回を迎えます。自らポスターやスローガンを制作することにより、中学生・高校生自身の未成年者飲酒の危険性に対する意識を高めるとともに、学校や家庭、地域社会と連携することも狙っています。

- ・6/15～9/30 募集期間
- ・10/1～30 第一次審査、二次審査、最終審査
- ・11/23 表彰式
- ・翌年1/下～2/上 学校賞受賞校訪問



- 主催 : ビール酒造組合
- 共催 : 日本洋酒酒造組合
- 後援 : 内閣府、
警察庁、
国税庁、
文部科学省、
厚生労働省、
(社)全国高等学校PTA連合会、
(社)日本PTA全国協議会、
全国養護教諭連絡協議会、
全国高等学校長協会、
全日本中学校長会、
(社)アルコール健康医学協会
- 協力 : 日本教育新聞社

2. 未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン

第13回未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン < 最優秀賞受賞作品 >

《中学生の部》



《高校生の部》



3. 未成年者飲酒防止啓発活動

(1) 養護教諭実践指導研修



2014年度からの新たな取組みとして「未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン」の認知理解、未成年者飲酒防止教育の促進を目的に、学校での 学校保健委員会活動や保健指導における飲酒を通じた具体的な実践のあり方について、養護教諭を対象に研修会を実施しました。生徒への指導や保護者との連携・対応時に盛り込んでもらうことを企図し、2014年は2月に東京、8月に東京、大阪で計3回開催しました。

・日時: 東京会場 2014年2月22日(土)、8月21日(木)

大阪会場 2014年8月23日(土)

・場所: 東京会場 虎ノ門琴平タワー3階会議室(港区虎ノ門1-2-8)

大阪会場 天満研修センター会議室(大阪市北区錦町2-21)

・対象: 中学校・高校の養護教諭及び学校医ほか保健師などの学校保健関係者

首都圏(東京・神奈川・埼玉・千葉)、近畿圏(大阪・京都・兵庫・奈良)の中学校、高等学校

・内容: キャンペーンのご案内、研究者による講演とグループワーク、未成年者飲酒防止啓発教材の紹介

3. 未成年者飲酒防止啓発活動

(2) 未成年者飲酒防止啓発DVD・教員用指導手引書制作

監修：玉木武(アルコール健康医学協会理事長)、丸山勝也(久里浜医療センター名誉院長)、植田誠治(聖心女子大学教授)

担当教諭の皆様が、学校教育の現場で未成年者飲酒防止指導をより取り組みやすくするため、以前から要望が強かった教材ツールとして、指導手引書とDVDを制作しました。8月の養護教諭研修会で紹介したところ、非常に好評で、活用いただいています。

DVDについては、未成年者飲酒防止ポスター・スローガン・学校賞募集キャンペーン応募者や、学校教育関係者などから要望があった場合、無償で提供しています。

またこのDVDについては、ビール酒造組合のホームページにもデータでアップしており、より多くの方に視聴してもらうことを推進しています。

教師用指導手引書

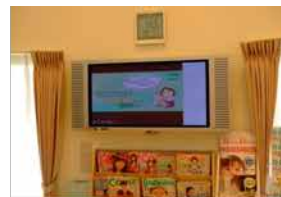
未成年者飲酒防止「啓発DVD」



4. 女性の不適切な飲酒防止啓発活動

(1) アットリンクビジョン(産婦人科デジタルサイネージ)

2014年11月より、妊産婦への飲酒防止啓発活動として、産婦人科導入実績No.1診療予約システムのインフラを活用した新しいデジタルサイネージである「アットリンクビジョン」を活用した取組を始めました。産婦人科の待合室に設置された患者様お呼び出し用モニターにて、120秒のCMが7～40分間隔で放映されるシステムです。(7分毎に1CMが放映され最大枠が5社まで。)



4. 女性の不適切な飲酒防止啓発活動

アットリンクビジョンコンテ

120sec_01

9sec

「妊娠したかな？」と
思った時から、
お酒を飲むのはやめましょう。

11sec

妊娠中のあなたが飲酒すると、
赤ちゃんのカラダにも
アルコールが運ばれます。



12sec

そして、発育障害、顔面などの奇形、
脳の障害など、さまざまに
悪影響するおそれがあります。



14sec

授乳期のお酒も、おっぱいから
赤ちゃんに飲ませてしまうこと
になるので絶対ダメ。授乳期が終わる
までは禁酒を守ってください。



9sec

そもそも女性のお酒の適量は、
男性の半分程度とされています。



9sec

妊娠中や授乳期が終わっても、
お酒の量には気をつけましょう。



4. 女性の不適切な飲酒防止啓発活動

アットリンクビジョンコンテ

120sec_02

10sec

妊娠・授乳中のママに
お酒を飲ませない。
ご協力をお願いします。

13sec

妊娠中にお酒を飲んでしまった
女性の飲酒相手の第1位は「夫」。
そんなデータがあります。



13sec

大事ないのちのために、
授乳期が終わるまではママに
お酒を飲ませない配慮が大切です。



15sec

妊娠・授乳中の女性への
深い愛情と気づかいで、
新しいいのちを守りましょう。



5sec

ぜったいNO! 妊産婦飲酒




4. 女性の不適切な飲酒防止啓発活動

(2) マイナビウーマンWebプロモーション

女性の適正飲酒の啓発活動として、2014年11/7～12/4の1ヶ月間、マイナビウーマンのWebプロモーションを実施しました。これから結婚・出産を経験していくであろう20～30代の女性をターゲットに、お酒にまつわる失敗エピソードやアンケートを絡めながら、適正飲酒と過度な飲酒による弊害について啓発していくタイアップ企画となっており、11/10～16のアルコール関連問題啓発週間に合わせて展開しました。

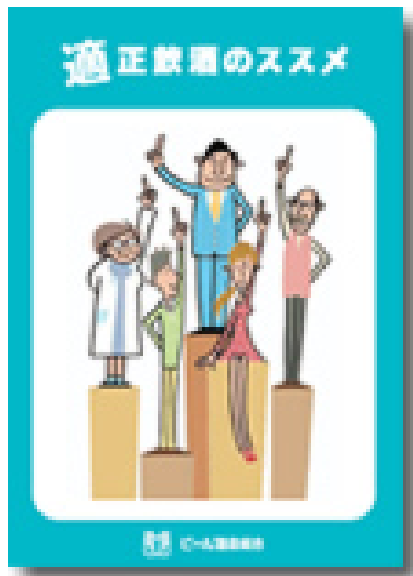
 マイナビウーマン

×

 ビール酒造組合



5. 啓発冊子「適正飲酒のススメ」の制作・配布



2012年に、従来加盟各社で制作していた適正飲酒啓発冊子をビール酒造組合で統一し、「適正飲酒のススメ」を作成しました。2014年はこれに「女性の飲酒」の項目を加えて刷新し、2015年より改訂版を順次配布する予定です。お酒の特性と効用、また誤用によるマイナス面をきちんと理解していただくことを目的に、各地で行われる成人式をはじめ、企業、家庭や学校などでの教材として無料で配布し、活用いただいています。毎年約30万部制作し配布しています。

6. イッキ飲み、アルハラ防止キャンペーン協賛

2014年ポスター



イッキ飲みでご子息を亡くされた加来夫妻と市民団体や医学界などで構成された日本アルコール問題連絡協議会が中心となり、1992年10月に設立された「イッキ飲み防止連絡協議会」が、翌93年から「イッキ飲み防止キャンペーン」を開始しました。このキャンペーンでは、ポスター、チラシ、防止グッズの3本柱でイッキ飲みの危険・防止を訴え続けています。

ビール酒造組合では、設立当初からその主旨に賛同し、1993年から現在に至るまで、毎年協賛しています。